

1 日時・場所 2024年1月24日(水) 5校時 4の1教室

2 単元名 登場人物の変化を中心に読み、物語をしょうかいしよう
(教材名) 「プラタナスの木」光村図書 4年(下)

3 単元・教材について

【単元目標】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
(1)オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	C(1)イ 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 C(1)エ 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	学習の見通しをもって、積極的に登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、物語の魅力を紹介する文章を書こうとしている。

【教材の特性】

本作品の中心人物とその友達は、学習する児童と同じ4年生であり、小さな公園でサッカーを楽しむ小学生という、どこにでもいそうな人物設定である。中心人物の気持ちは、児童にとっても想像しやすいものであるはずだ。登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わりと結びつけて捉えられるように自分の体験などと重ね合わせながら読み進めていってほしい。中心人物の気持ちの変化について多様な捉え方が考えられるため、物語の魅力をそれぞれが表現し、異なる視点を感じながら読みを深めていってほしい。

【単元計画】(全11時間)

	主な学習活動 代表的な子どもの姿(・)	評価規準
第一次	① 「プラタナスの木」の題名から物語の展開を想像する。範読を聞き、おおまかな話の流れを捉え、初めの感想を書く。(①感想②疑問に思ったこと) ・プラタナスの木は切られたけど、また、元気になるそうだからよかった ・枝や葉っぱの代わりになれてよかった ・おじいさんは何だったのだろう ・根に支えられているってどういうことか ・なんでおじいさんとまた会えると思ったのか ② 初めの感想を共有し、学習のめあてや進め方を捉え、見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;">登場人物の変化を中心に読み、物語を紹介しよう</div>	【態】単元目標を理解し、進んで「プラタナスの木」を進んで読もうとしたり、物語を紹介する文章を書く活動に意欲をもって取り組もうとしている。[観察・発言・記述]

<p>第二次</p> <p>本時 ⑦</p>	<p>③ それぞれの場面の様子や出来事をウェビングマップを活用し、大まかな内容を捉える。</p> <p>④ ③の続き</p> <p>⑤ 場面を確かめ、それぞれの場面の様子や出来事をまとめる。</p> <p>⑥ 物語の最初と最後で、「マーチン」はどのように変わったのかを言葉や表現から考える。 ・ただの木から優しいことをしたくなる木 ・木とのつながりを感じるようになった</p> <p>⑦ 「マーチン」が変わるきっかけとなった出来事は何かを理由とともに考える。(本時) ・おじいさんの不思議な話を聞いたこと ・祖父母の家で体験した大きな台風 ・プラタナスの木が切り倒されたこと</p> <p>⑧ 最後の場面で「マーチン」はどんなことを感じていたと思うかを考える。 ・僕たちは枝や葉になるよ ・これできっとおじいさんに会えるかもな ・恩返しや感謝がしたいな</p> <p>⑨ 「マーチン」たちは、また、「おじいさん」に会えると思うかを理由とともに考える。 ・会えない プラタナスの木はないから ・会える 命はつながっているから</p> <p>⑩ 「プラタナスの木」という物語の魅力は何かを考え、紹介する文章を書く。</p>	<p>【知】叙述に着目して読むことで、様子や行動、気持ちを表す語句の量を増やしている。 [記述]</p> <p>【思C】会話文や行動、情景などの叙述に着目して、登場人物の変化などを読み取っている。[記述・発言]</p> <p>【思C】場面と場面のつながりを考えたり、自分と照らし合わせて具体的に想像したりしながら読み、登場人物の変化やそのきっかけを考えている。[記述・発言]</p> <p>【態】学習の見通しをもって、積極的に登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像し、物語の魅力を紹介する文章を書こうとしている。 [観察・記述・発言]</p>
<p>第三次</p>	<p>⑪ 「プラタナスの木」の魅力を紹介する文章を読み合い、感想を伝え合う。</p>	<p>【思C】紹介する文章を友達と読みあい、良さを見つけたり、自分の考えを広げたりしている。[記述・発言]</p> <p>【態】感想を伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに積極的に気づこうとしている [観察・発言・記述]</p>

4 児童の実態と《目指す児童の姿》に迫るための手立て

【児童の実態】

<ul style="list-style-type: none"> ○興味関心をもって物語文を読むことができる。 ○与えられた課題に、真面目に取り組む児童が多い。 ○友達と関わり合いながら学ぶことを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体的に、叙述を基にして読み取る力が低い。 ●自由に想像したり、自分の願いや考えをもったりすることに苦手意識をもつ児童がいる。 ●自分の思いや考えを進んで発表する児童が少ない。 ●静かに話を聞いていても、「聴く」に至っていない児童がいる。 ●書くことが苦手な児童がいる。
--	--



《目指す児童の姿》(中学年ブロック)

自分の思いや考えをもち、相手に進んで伝える児童



【目指す児童の姿に迫るための手立て】

- ① 初めの感想を基に、学習問題を作っていく。(考える必然性)
- ② 考えを記述する際に、叙述の言葉を抜き出し、思考ツール(ウェビングマップ)を用いた情報の整理をすることで自分の考えの根拠を整理して捉えられるように促していく。(考えの根拠の明確化)
- ③ 考えを記述した紙を友達に見せ、アドバイスとサインをもらい、黒板に貼るという流れを作ることで、自分とは違う考えを知る機会を作る。また学習の振り返りで友だちとの考えの違いを思い返すよう促す。(考えの共有化・相違の自覚化)
- ④ 自分と友達の考えの違いを意識できるような問いかけをする。学習が停滞している児童に学習する方法を問いかける。(教師のかかわり)

※「4つの手立て」以外の授業の枠組み

- ・各時間ごとに児童が、その時間の学習の目標を立てて、学習課題に取り組んでいく。
(学習課題は、物語文の場合、全体の捉え→単元末の学習の手引きの問い→初発の感想から学級で選んだ問い)
- ・学習の進度は児童によって違うため、先に進んでいる児童もいれば、さかのぼって考えなおす児童もいる。
そのため、単元計画の主な学習内容はあくまで目安となる。
- ・学習への取り組み方は、個人で行ってもよいし、グループで行ってもよい。
- ・自分の考えを書き上げたら、友達に見せてサインをもらい、黒板に貼るが何度、作り直してもよい。
- ・授業の最後に、その時間の学習の振り返りをする。
- ・教師は全員で確認したい内容がある場合に、児童の学習を止めて、同一の内容について取り組ませる場合がある。(本時はその予定)



研究テーマ

学び合い、高め合う子どもの育成
～子ども主体の授業をめざして～

5 本時について(7/11時間)

【本時目標】

登場人物が変わるきっかけとなった出来事について、自分の考えをまとめることができる。(指導者の目標)

【本時展開】

<p>学習のめあてと活動 教師の関わり (○) 子どもの姿 (・)</p>	<p>支援・留意点 (・) 評価 (○) 【評価項目】 / 方法</p>
<p>① 前時までの学習を振り返り、本時の学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「マーチン」が変わるきっかけとなった出来事は何かを理由とともに考えよう。</p> </div> <p>② 本時の学習計画を立てる。 大計画シートを見ながら、どんな学習内容をどのように学習するのかを計画する。(本時は学習内容が指定されているため、学習方法を書くことが中心となる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ出来事が書けていないから一人でやって、ダメなら友達とやる。 ・出来事は書けているから友達の考えを聞いて、自分の考えのレベルが上げられるようにする。できたら友だちのレベルも上げたい。 <p>③ 計画に基づいて学習を進める。</p> <p>ア. マーチンが変わるきっかけとなった出来事について、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんの不思議な話をきいたこと ・祖父母の家で体験した大きな台風 ・プラタナスの木が切り倒されたこと <p>イ. 自分の考えを書いた紙を見せて伝える 児童の様子を見て、どこかで発問をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>色々なきっかけでマーチンは変わったと思いますが、どの出来事が変わる一番のきっかけになったのですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議な話を聞いたこと。これで仲良くなった。 ・台風を体験したこと。木に支えられていると感じた。 ・木が切り倒されたこと。恩返しや感謝を伝えたくなった。 <p>④ 本時の学習を振り返る。 自分の学んだこと (学習内容) や自分の学び方 (学習方法) について本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番のきっかけになったことを友達と相談しながらやって考えられてよかった。できないのに一人で固まっている時間が長かった。次はもう少し友達を頼りたい。 ・友達の考えを聞いて考えが広がった。木が切り倒されたから変わったのかもと思えるようになった。友達と協力できた。 	<p>・書けたら班の友達に発表してから学習を進めるようにする。</p> <p>・黒板に貼られた意見や机間指導を継続的に行なって、各児童が適切に学習に取り組めるように声をかける。</p> <p>・課題のある児童や、この単元につまずきが見られる児童には特に注意し、必要に応じて個別指導を行う。</p> <p>・個別指導の中で学習上大切なポイントを把握していき、必要に応じて全体に対して端的な発問や一斉指導を行う。</p> <p>・課題のある児童や、この単元につまずきが見られる児童・・・まずは自力で取り組んでみて、わからなくなったら友達や教師に聞いたり、友達の考えを見たりする。“わからなくなったら他者にきく”という判断自体が難しい場合もあるので、教師は進度を確認し、声をかける。</p> <p>・自力で学習を進められる児童・・・自分の考えをまとめ、友達に見せてアドバイスをもらい、改善を加えていく。友達の考えを見てアドバイスをしながら自分の考えを振り返る。個人の学びとして粘り強さや学習の調整をしたり、集団としての学びとして声かけをしたり、自分の目標と実際を照らし合わせながらそのときの学習を調整していくように促す。</p> <p>○叙述をもとに登場人物が変わるようになったきっかけを読み取り、考えている。 [記述・発言]</p>